



## 開会式・閉会式の制作等業務委託契約の変更について

2019年5月28日

# 1 お願い事項

株式会社電通と締結している開会式・閉会式制作等業務委託契約の「契約金額上限額」の変更について承認頂きたい

## 2 これまでの経緯

### 2017年

○プロポーザル方式で、開会式及び閉会式の制作委託事業者を公募

### 2018年

○作業部会にて、開会式及び閉会式制作業務委託契約の締結について  
ご承認いただく

○理事会において開会式及び閉会式制作業務委託契約の締結について決議  
⇒事業費については、演出内容を基に4式典の計画全体を検討し、関係各所にも  
ご相談しつつ必要に応じて見直していく旨をご説明させて頂いた

○株式会社電通と契約を締結

○野村萬斎氏を東京2020総合、山崎貴氏をオリンピック担当、  
佐々木宏氏をパラリンピック担当とする4式典の演出企画の  
実施体制を発表

## 3 契約金額上限額

### (1) 変更の必要性

- 現在の上限額は、2020年大会の立候補ファイルで提示した金額を設定
- このたび、演出企画の骨子が固まったため、必要な事業費を骨子に基づいて概算したところ、現行の上限額を超過する見込み
- 東京らしさ、日本らしさを表現する演出内容案の具現化を可能とするため、上限額を増額させて頂きたい
- ただし、組織委員会の厳しい財政状況に鑑みて、他の大会と比べ低い水準での上限額の設定と致したい

## (2) 変更後の契約金額上限額（消費税及び地方消費税を含む）

現在の91億円から130億円への変更をお願いしたい

### 過去及び将来の夏季大会との比較

※いずれも公表済みの金額

	ロンドン 2012	東京 2020	パリ 2024	ロサンゼルス 2028
費用	160億円	91億円 (立候補ファイル) →130億円	148億円 (立候補ファイル)	184億円 (立候補ファイル)

※換算レート \$1=110.79円 £1=145.5円

## 4 委託費の管理等

今後、演出企画が具体化するに伴い必要な事業費が変動した場合でも、演出企画チームや制作会社と連携し、演出案の予算配分にメリハリをつけつつ効率的な執行となるよう、管理を徹底する